

特記仕様書（別記）		
工事番号	第 11140005 号	
工事名称	令和6年度 生活基盤施設耐震化交付金 田沢浄水場耐震補強工事（建築）	
施工条件明示		
週休2日工事の適用の有無		
（１）週休2日工事	<input checked="" type="radio"/> 対象	<p>1 週休2日工事の対象工事の場合は、亘理町「週休2日工事」実施要領に基づき行うものとする。</p> <p>なお、週休2日工事の形式については下記（２）のとおりとする。</p> <p>2 改正労働基準法（平成30年成立）による罰則付きの時間外労働規制令和6年4月から建設業に適用されること等を踏まえ、令和6年4月には、維持工事等も含めて、週休2日の確保を目指すことから「週休2日工事」での発注を原則とする。</p> <p>ただし、応急復旧工事などの場合は、例外的に週休2日工事としないことも可能とする。</p> <p>その場合は「対象外工事」として、下欄にその理由を記載する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 対象外工事 	<p>実施困難工事の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応急復旧工事など緊急工事 ・ 週休2日工事に適さないと判断される工事 ・ その他、町長が特に必要と認める工事 <p>（例）</p> <p>応急復旧工事のため早期に工事を完成させる必要があり、週休2日工事が困難なため。</p>
（２）週休2日工事の型式・種別	<input checked="" type="radio"/> 発注者指定型 <input checked="" type="radio"/> 現場閉所型 <ul style="list-style-type: none"> 交代制 	<p>当初設計においては、複合単価、市場単価、補正市場単価、物価資料の掲載単価について、補正率を乗じた複合単価を使用し積算する事とする。週休2日工事の要件を達しない場合は、補正率を乗じて算定した分の経費の全部について、設計変更により減額するものとする。</p>
（３）週休2日工事の仕様及び提出資料について	通期の週休2日促進工事	<p>対象期間（現場施工に着手した日から現場施工が完了した日）を通じ現場閉所の日数が4週間につき8日以上（通期の週休2日）を確保する旨を施工計画書に明記し、休日等取得実績書の提出及び計画工程表に計画している休日、休暇（以下休日等）を記すこと。</p> <p>対象期間の開始日から28日毎に休日取得の実績が確認できる休日等取得実績書を作成の上、発注者に提出すること。</p> <p>※ 休日等取得実績書については、宮城県土木部「週休2日工事」実施要領の様式を参考に任意で作成すること。</p>

[illegible]


[illegible]

[illegible]

内 部 仕 上 表

階	室名		床				幅				腰壁				壁				天井				備考	改修内容								
			下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	下地			仕上	詳細番号	改修内容	梁型仕上	天井高	改修内容		
1階	次亜塩素貯槽室	改修前	C	無筋コンクリートt=100の上 モルタルこて仕上t=30 床用塗料		B	C	モルタルこて仕上t=20の上 V P 塗	300		D					C	モルタルこて仕上t=20の上 V E P 塗		D				C	木毛セメント板t=18の上 V E P 吹付仕上		F	モルタルこて仕上t=20 の上V E P 塗	直 天	B			
		改修後	C	無筋コンクリートt=100の上 モルタルこて仕上t=30 床用塗料	1-01-1	b	C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	300	2-11-7	a d					C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	2-02-12	a d				C	既存のまま		f		直 天				
	塩素滅菌室	改修前	C	無筋コンクリートt=100の上 モルタルこて仕上t=30 床用塗料		B	C	モルタルこて仕上t=20の上 V P 塗	300		D					C	モルタルこて仕上t=20の上 V E P 塗		D	壁に同じ		B	C	木毛セメント板t=18の上 V E P 吹付仕上		F	モルタルこて仕上t=20 の上V E P 塗	直 天	B			
		改修後	C	無筋コンクリートt=100の上 モルタルこて仕上t=30 床用塗料	1-01-1	b	C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	300	2-11-7	a d					C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	2-02-12	a d	壁に同じ	2-02-12	b	C	既存のまま		f	モルタルこて仕上t=20 の上E P 塗	直 天	a b			
	フロアー室	改修前	C	無筋コンクリートt=100の上 モルタルこて仕上t=30		B	C	モルタルこて仕上t=20の上 V P 塗	300		D					C	グラスウール吸音材t=25の上 有孔石膏ボードt=7 V E P 塗		D	モルタルこて仕上t=20 の上V E P 塗		B	C	グラスウール吸音材t=25の上 G B－N C（N T）t=7 廻り縁：アルミ製		F	モルタルこて仕上t=20 の上V E P 塗	直 天	B			
		改修後	C	無筋コンクリートt=100の上 モルタルこて仕上t=30	1-01-1	b	C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	300	2-11-7	a d					C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	2-02-12	a d	モルタルこて仕上t=20 の上E P 塗	2-02-12	b	C	既存のまま		f	モルタルこて仕上t=20 の上E P 塗	直 天	a b			
	薬注室	改修前	C	無筋コンクリートt=100の上 モルタルこて仕上t=30		F	C	モルタルこて仕上t=20の上 V P 塗	970		F					C	モルタルこて仕上t=20の上 V E P 塗		F	壁に同じ		F	C	木毛セメント板t=18の上 V E P 吹付仕上		F	モルタルこて仕上t=20 の上V E P 塗	直 天	F			
		改修後	C	既存のまま		f	C	E P 塗	970	2-11-7	a					C	E P 塗	2-02-12	a	壁に同じ	2-02-12	a	C	既存のまま		f	E P 塗	直 天	a			
2階	ホール	改修前	C	モルタルこて仕上t=30の上 リノリウム貼		F	C	ビニル市木	100		A					C	モルタルこて仕上t=20の上 V E P 塗		D	壁に同じ		F	S	G B－N C（N T）t=7 廻り縁：アルミ製		D		2500				
		改修後	C	既存のまま		f	C	ビニル市木	100	2-11-1	a					C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	2-02-12	a d	E P 塗	2-02-12	a	S	G B－N C（N T）t=9.5 廻り縁：アルミ製	3-01-1 3-11-4	d		2500				
	湯沸室	改修前	C	モルタルこて仕上t=30 リノリウム貼		F	C	ビニル市木	100		A					C	モルタルこて仕上t=20の上 V E P 塗		F	モルタルこて仕上t=20 の上V E P 塗		B	S	G B－N C（N T）t=7 廻り縁：アルミ製		D		2500				
		改修後	C	既存のまま		f	C	ビニル市木	100	2-11-1	a					C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	2-02-12	a d	モルタルこて仕上t=20 の上E P 塗	2-02-12	b	S	G B－N C（N T）t=9.5 廻り縁：アルミ製	3-01-1 3-11-4	d		2500				
	会議室	改修前	C	モルタルこて仕上t=30の上 リノリウム貼		F	C	ビニル市木	100		A					C	モルタルこて仕上t=20の上 V E P 塗		D	壁に同じ		B	S	G B－N C（N T）t=7 廻り縁：アルミ製		D		2500				
		改修後	C	既存のまま		f	C	ビニル市木	100	2-11-1	a					C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	2-02-12	a d	壁に同じ	2-02-12	b	S	G B－N C（N T）t=9.5 廻り縁：アルミ製	3-01-1 3-11-4	d		2500				
	休憩室	改修前	C	モルタルこて仕上t=30 リノリウム貼		F										C	モルタルこて仕上t=20の上 京壁仕上		D	壁に同じ		F	S	杉桎目板貼り		D		2500 2350				
		改修後	C	既存のまま		f										C	モルタルこて仕上t=20 の上E P 塗（新設）	2-02-12	d	既存のまま		f	S	G B－D（W）t=9.5	3-01-1 3-11-2	d		2500 2350				
		改修後	W	既存のまま		f										C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	2-02-12	d	既存のまま		f	S	G B－D（W）t=9.5	3-01-1 3-11-2	d		2500 2350				
	管理室	改修前	C	モルタルこて仕上t=30の上 リノリウム貼		B	C	モルタルこて仕上t=20の上 ビニル市木	100		A D					C	モルタルこて仕上t=20の上 V E P 塗		D	壁に同じ		B	S	G B－N C（N T）t=7 廻り縁：アルミ製		D		2500				
		改修後	C	モルタルこて仕上t=30の上 ビニル床シート	1-01-1	b	C	モルタルこて仕上t=20の上 ビニル市木	100	2-11-1	a d					C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	2-02-12	a d	壁に同じ	2-02-12	b	S	G B－N C（N T）t=9.5 廻り縁：アルミ製	3-01-1 3-11-4	d		2500				
	電気室	改修前	C	モルタルこて仕上t=30		B	C	モルタルこて仕上t=20の上 V P 塗	100		B					C	モルタルこて仕上t=20の上 V E P 塗		D	壁に同じ		B	C	木毛セメント板t=18の上 V E P 吹付仕上		F	モルタルこて仕上t=20 の上V E P 塗	直 天	B			
		改修後	C	モルタルこて仕上t=30	1-01-1	b	C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	100	2-11-7	a d					C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	2-02-12	a d	壁に同じ	2-02-12	b	C	既存のまま		f	モルタルこて仕上t=20 の上E P 塗	直 天	a b			
	ろ過池・沈殿池上部	改修前	C	モルタルこて仕上t=30		B	C	モルタルこて仕上t=20の上 V P 塗	100		B					C	モルタルこて仕上t=20の上 V E P 塗		D	壁に同じ		B	C	木毛セメント板t=18の上 V E P 吹付仕上		F	モルタルこて仕上t=20 の上V E P 塗	直 天	B			
		改修後	C	モルタルこて仕上t=30	1-01-1	b	C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	100	2-11-7	a d					C	モルタルこて仕上t=20の上 E P 塗	2-02-12	a d	壁に同じ	2-02-12	b	C	既存のまま		f	モルタルこて仕上t=20 の上E P 塗	直 天	a b			
	薬品保管室	改修前	C	モルタルこて仕上t=30		F	C	モルタルこて仕上t=20の上 V P 塗	100		F					C	モルタルこて仕上t=20の上 V E P 塗		F	壁に同じ		F	C	木毛セメント板t=18の上 V E P 吹付仕上		F	モルタルこて仕上t=20 の上V E P 塗	直 天	F			
		改修後	C	既存のまま		f	C	E P 塗	100	2-11-7	a					C	E P 塗	2-02-12	a	壁に同じ	2-02-12	a	C	既存のまま		f	E P 塗	直 天	a			
	水質試験室	改修前	C	モルタルこて仕上t=30		F	C	モルタルこて仕上t=20の上 V P 塗	100		F					C	モルタルこて仕上t=20の上 V E P 塗		F	壁に同じ		F	S	G B－N C（N T）t=7 廻り縁：アルミ製		F		2500				
		改修後	C	既存のまま		f	C	E P 塗	100	2-11-7	a					C	E P 塗	2-02-12	a	壁に同じ	2-02-12	a	S	既存のまま		f	既存のまま	2500				

実 施

 改修対象範囲を示す。

特記なき限り

改修後の仕上材料の厚さ	材 料 名	種別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備 考	材 料 名	種別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備 考	工 事 区 分 略 号	<	>	C	:	土木工事	改 修 内 容 凡 例	改修前		改修後		亶 理 町
	GB-R	仕上	12.5	12.5	NM-8619	けい酸カルシウム板 (タイプ2)		12	10	NM-8578		<	>	AM	:	建築機械設備工事		A:	仕上新設	a:	仕上新設	
		下地	12.5			押出法ポリスチレンフォーム保温材		25	25			<	>	AE	:	建築電気設備工事		B:	図示の仕上撤去	b:	図示の仕上新設	
	GB-NC (N)	下地		9.5	NM-8613 又は同等	壁紙						<	>	PM	:	プラント機械設備工事		C:	下地共新設	c:	下地共新設	
	GB-NC (NT)			9.5								<	>	PE	:	プラント電気設備工事		D:	図示の下地共撤去	d:	図示の下地共新設	
	GB-D (W)			12.5	NM-8614													E:	図示の下地調整	e:	図示の塗装塗り替え	
DR				12	NM-8599											F:	既存のまま	f:	既存のまま	図番	A-006	

工 事 名	令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（建築）		
施工地名	亘理町逢隈田沢字堰下206-6		
図 面 名	仕上表（2）		
縮 尺	NONE	位置	
設 計 者		設計 年度	
亘 理 町		図番	A-006